

## パブリックコメントによる意見に対する笠岡市の考え方(人口ビジョン分)

番号	ページ	項目名	意見	市の考え方
1		「将来展望のためのシミュレーション」について	ケース②が良いと考えます。社会動態の増加なしには厳しいと思われるので。笠岡市独自のシミュレーションとしても適していると思います。P40の③の下に行については、「特に女性の転出抑制・転入促進となるための」の方が良いかと。	案に反映いたします。
2			<p>1.笠岡市人口ビジョン(案)の目次に追加してください。</p> <p>IV.笠岡市人口減対策 *1</p> <p>1.地域の持続的発展のための地域経済力の確保</p> <p>2.笠岡市の財政の強化 企業・政府機関等の誘致を積極推進</p> <p>【趣旨補足】</p> <p>*1:ビジョンだけ掲げても、その原動力がないと必達出来ないのでは。</p>	ご意見を参考とさせていただきます。

## パブリックコメントによる意見に対する笠岡市の考え方(総合戦略分)

番号	ページ	項目名	意見	市の考え方
1			<p>拝読致しました。</p> <p>すべて網羅された計画案であると思います。ただ、笠岡市と似た状況で、同じ悩みを抱えている自治体は多いと考えますが、最近の国、地方創生会議の方向性と流れでスピード感を持って期限付きの(案)を提出せざるを得ないということになると、多くの自治体が似たような(案)しか出せないのではと危惧しております。世界ブランド、全国ブランドは難しいとしても、本年3月に連携協定を結ばれた福山圏・倉敷圏での特徴、生き残り策をもう少し全面に出された方が……と愚考しております。</p>	<p>ご意見を参考とさせていただきます。</p>
2			<p>笠岡市がこのままでは人口減少が進み、衰退の一途をたどることは、分析によるまでもなく明白であると思います。特に中心市街地での干拓からの悪臭公害は放置されたままとなり、住環境の劣化は甚だしいものがあります。この改善を考えずして中心市街地の活性化はないでしょう。この問題に、私が知る限りでも10年以上もの間、笠岡市によって何ら効果的対策は行われておらず、このプランの中でも全く触れられていません。笠岡にとってもっとも大きな問題の一つである悪臭公害に対してどう対処するのか。このまま放置を続けるのか。今後の市の考え、具体的対策についてお答えいただきたいと思います。</p>	<p>案に反映いたします。</p>
3	P12	①笠岡への移住の推進	<p>小学校、中学校の活用 小学校、中学校は笠岡市立なので、小中学校教育を他地区にはない特色あるものによって移住を推進しては如何でしょうか。 時々、耳にするのは、福山の小中学校教育に対する不満です。潜在的な需要はあるかも知れませんが、費用も大事かもしれませんが、多くの保護者は内容を重要と考えていると思います。</p>	<p>ご意見を参考とさせていただきます。</p>

## パブリックコメントによる意見に対する笠岡市の考え方(総合戦略分)

番号	ページ	項目名	意見	市の考え方
4	P9	①地元中小企業振興・起業支援 ■女性や若者等の新規創業者を育成し、創業を支援します。	・働きたいが、自信はないという女性が多いので、これまで成功された起業者(女性の方)の体験談など聞く場を設けては？	商工会議所と連携して、既 に実施中です。
			・子育て中の母がパートで働きながら保育料を支払い、あまり稼げた感がない実情。例えば井原市の「どんぐりカフェ」だと赤ちゃんをおんぶしてウェイトレスや調理の仕事をしている。そういった職場があれば安心して働け、保育料もいらず一石二鳥。子どもと共に働ける会社があれば望ましいと思います。	既存の保育所を有効利用 していただくほか、職場環 境の充実に努めてまいりま す。
	P10	④観光振興 (具体的な取組内容)	・体験型的要素も加えてほしい。(北木石を使った小物づくり、地場の食材を使った料理など)	案に反映いたします。
			・自転車ブームなので、自転車で一周島めぐり(自転車は有料レンタル)、島の猫探しスタンプラリーみたいな、女性、ファミリーが好みそうなコース提案	島めぐりについては、現在 北木島での実施を検討中 です。白石島では歩いて散 策できるコースを企画して いるところです。 猫の活用については、現在 検討中です。
	P15	①結婚応援	・TVでお見合い系の番組があるが、笠岡市を知ってもらう良いチャンスにもなるのでお願いできないか。	既に検討いたしました が、費用の問題等もあり、断 念した経緯がございます。
			・未婚者の結婚に対する意識内容(自由さ、気楽さを失いたくない、趣味や娯楽を楽しみたい)からも分かるように、個の人生の楽しみを重視している。未婚者の結婚に対する意識改革も大事かと思えます。	ご意見を参考とさせていた だきます。
P16	・放課後児童クラブの充実	母親たちだけではなかなか職員の確保が難しく、困っている声をよく聞きます。早急な改善策をお願いしたいです。	重要な課題と認識してお り、引続き各団体と協議し ながら進めてまいります。	
			資料にはありませんが、ふるさと納税についてのホームページが、使い道などについては詳しくありますが、何がもらえるかが分からず、市外の人からは特に魅力を感じないと声を頂きました。近隣の里庄、浅口、矢掛などはきちんと写真入りで出ているので、もう少しサービス感があつた方が良くと思います。	先般、品目の見直しを行 い、5品目から22品目に増 加し、7月下旬にホーム ページに掲載したところ です。

## パブリックコメントによる意見に対する笠岡市の考え方(総合戦略分)

番号	ページ	項目名	意見	市の考え方
5	P10	④観光振興 ・道の駅 花いっぱい化	道の駅に花を植えることで花を見に来られる市外からの観光客が多いのはわかりませんが、実際、道の駅のための観光で終わってしまっているのではないかと。花を見に来た観光客が市内の飲食店で食事をして帰るとか、市内で遊んで帰るといったのを耳にしたことがないように思う。花を植えることに多額のお金を使うのももったいない気がします。続けるならば、道の駅以外にも効果のある方法にしないともったいないです。場所的にも福山から行き来しやすいので、見るのは道の駅の花、食べる所は福山になっているのではないかと。	デスティネーションキャンペーンのプレ大会にあわせ、道の駅と中心市街地、観光地を結ぶバス路線を開設したところです。また、交通手段だけでなく、観光資源の売り出し方等について、今後も検討してまいります。
	P11	イ 笠岡への新しいひとの流れをつくる	例えば、笠岡市内在住(笠岡市民)に限り、笠岡市内での買い物は免税にする、〇%引きにする等とする。 企業、店等・売上が伸びる→雇用が生まれる→就労拡大→定住・移住促進 市民・生活がしやすくなる→定着・移住促進 という流れもあるのかなと思いました。 今まではどちらかというと、ある年齢の人だけに定まった補助が多かったですが、市民全員が同じ補助を受けられるというのも良いのではないのでしょうか。	税についてのご提案は、市のみでの対応は難しいと考えます。 移住促進に向けた取組は、「打てる手は打っていく」という方針で今後も臨んでまいります。
	P15	②妊娠・出産環境の整備 ・乳児家庭の全戸訪問	実際受けたことがあります、あまり必要と感じなかった。全戸でなくても良い様な。	乳児家庭の孤立化による子どもの虐待等を防ぐためにも、訪問して保護者の様子を知ることが大事と考えております。
	P16	③子育て支援 ・子ども医療費給付事業の充実	実際、必要にあまりせまられなくても、医療費が無料だから受診する人をよく聞きます。また、それにあわせて、親用の薬をもらうのに、子供を使って無料で薬をもらったりしているという人をききます。 不要に薬をもらいすぎる事や、むやみに受診するのを予防するためにも、1回受診毎に500円等(後日、市役所で返金でも良い)の対策をされても良いのではないかと。	子どもは体に関する的確な情報を親に伝えることができないため、受診することで正しい状況を親が知ることができると思いますが、ある程度の医療費負担につきましては今後の検討課題といたします。
	P16	③子育て支援 ・第3子以降の経済的支援の充実	経済的理由で子供をつくらないという人をよく聞くので、効果は高いと思います。	案に反映いたします。

## パブリックコメントによる意見に対する笠岡市の考え方(総合戦略分)

番号	ページ	項目名	意見	市の考え方
6			笠岡市の置かれている厳しい現状はよくわかりました。最も重要な創業戦略案の「4 施策の体系」については、大部分の方向性は正しいと思います。しかし、抽象的な項目が多く、やや具体性に欠けると感じました。問題はこれからどう具体的な施策を打ち出し、実行するか、です。2回目の会議でも言いましたが、私は干拓地を活かさないと笠岡市に未来はないと思っています。法律をはじめ様々な壁が立ちはだかっているのは百も承知です。これらを打ち破るには大変なエネルギーが必要です。「特区」という手だって、ないとは言いきれないと思います。20年後、30年後の干拓地のイメージが思い描けるような記述が不足しているのが、残念です。	過去に2回、特区申請しておりますが、実現しておりません。また、現在公有の遊休土地はございませんが、引続き有効利用を図ってまいります。
	P12	①笠岡への移住の推進	人口ビジョンP13の課題に記載されている「ベッドタウンとしての定住促進」に関する取組を明記してはどうか。市内での雇用の確保も重要だが、福山・倉敷での雇用も活用してよいのではないか。 (1)他市町で働きながら笠岡へ住まいを移すきっかけとなるよう、福山・倉敷の通勤圏であることや子育て施策が充実していることをPRしてはいかがか。	月に1度、FM福山とFM倉敷で市の定住促進施策やイベント情報等をPRしております。
			(2)「企業・雇用情報の提供」も、笠岡の情報だけでなく、通勤圏となる他市町の情報をあわせて提供してはいかがか。	年に3回程度、東京での移住相談会に参加し、笠岡市のみならず福山市や倉敷市の雇用情報もお伝えしております。
	P12	②若者の地元定着・移住促進	若者が就職に伴って転出しないよう、あるいは進学で市外へ出たとしても、就職にあたり笠岡へ帰ってくるよう、幼・小・中学生段階での「笠岡市の良さ、地域の良さ再発見」P18に加え、高校生段階で、地元企業を知る取組を導入できないか。(県立井原高校の取組例がある。)	現在は学生にインターシップを経験していただいております。今後は、若者の目線で企業のPRをしていただく取組も行っていく予定です。また、市長が企業訪問する際に、地元高校生の積極的な雇用をお願いしているところでございます。
7	P12	②若者の地元定着・移住促進	若者、特に女性の意見を大切に、若年女性の定住人口を増やしていくならば、同様の取組の「女性」版を実施してはいかがか。少なくとも、特に定住人口の増加を目指す若年女性及びその予備軍の意見を拾い上げる、継続的な取組はあっても良いのではないか。	案に反映いたします。

## パブリックコメントによる意見に対する笠岡市の考え方(総合戦略分)

番号	ページ	項目名	意見	市の考え方
	P13	⑤就労の拡大	(1)「子育て世代に優しい職場環境」に加え、人口ビジョンP20で晩婚化・未婚化対策として課題に挙げられている「女性に対する仕事と結婚の両立のための支援」も、取組に加えてはいかがか。この取組は、P15「①結婚応援」にも関わると考える。	ご意見を参考とさせていただきます。
			(2)P16「③子育て支援」の中に、共働き家庭支援の視点を加えてはいかがか。	案に反映いたします。
			(3)子育て中の女性を対象とした再就職支援(スキルアップ、面接会等)を、取組に加えてはいかがか。(NPO輝くママ支援ネットワークぱらママ の取組参照 <a href="http://paramama.jp/mt/index.html">http://paramama.jp/mt/index.html</a> )	ご意見を参考とさせていただきます。
	P20	①特色ある地域づくり	本戦略の「視点2:若者、特に女性の意見を大切にします。」を、地域づくりでも生かすべきではないか。上記3で触れた、若者や女性の意見を拾い上げる取組、それをいかしたまちづくりを、取組に加えてはいかがか。	案に反映いたします。
	P20	①特色ある地域づくり	KPIとして、中心市街地の賑わいを指標化したもの(通行量、空き店舗率などだろうか)を追加してはいかがか。	ご意見を参考とさせていただきます。
8	P15	②妊娠・出産環境の整備・市民病院の産科医確保	具体的取組として、市民病院に小児科、産婦人科の医師が確保されている。それを生かすために、助産師等の専門職を増やし、妊娠・出産包括支援事業とする。(有田市の事業を参考としたい)	周辺市町に産科医がいないことを強みとして生かしてまいります。助産師につきましては、状況に応じて今後検討してまいります。
	P16	③子育て支援	第2子、3子を妊娠出産しての育休中は、原則上の子は保育所を利用できないと仄聞する。(本市でもあると聞いています。)もし、現状としてあるのであれば、本市では、待機児童もいない現状からして、この制度を無くすることを提案します。	育児休業法に定められている1年6ヶ月の期間は、利用していただいております。現在、待機児童はおりませんが、今後の参考とさせていただきます。

## パブリックコメントによる意見に対する笠岡市の考え方(総合戦略分)

番号	ページ	項目名	意見	市の考え方
9			<p>将来にわたり、地方創生を実現していくのは「ひと」です。 幸い市内には、県立高校3校と私立高校1校の計4校があり、市内のみならず市外からも多くの学生が通学しています。この状況を活かさないといけません。県立(県教委)・市立(市教委)・私立という運営主体の壁を克服し、小・中・高と「まち」・「しごと」を繋げて地元で活躍する「ひと」を育成して参りましょう。 そのような学校教育施策について、総合戦略へ盛り込むことを希望します。</p> <p><b>現状</b> 笠岡市では、生産年齢人口前期(15歳～39歳)での転出超過数が多く、特に高校・大学卒業時での転出が課題となっている。</p> <p><b>将来にわたり期待される「ひと」</b> ・受け身型、指示まち型の人材ではなく、自ら主体的に判断・行動して課題を解決したり、新しい価値を生み出すことができるような創造性や起業家精神を備えた人材 ・地域に根付く人材</p> <p><b>施策例</b> ・小・中・高のキャリア教育に関する連携。更には大学、地元企業との連携発達の段階に応じたキャリア教育・職業教育の推進を連携して体系的に推進する。 ・地元企業と連携をした実践的教育 企業が発案したプロジェクト(商品開発や販路開拓)にインターンシップで関わる。 職業観の醸成を担う体験型から、企業にメリットある実践的なインターンシップ手法を開発する。 キャリア教育を学生発の起業につなげる(高校生・大学生の起業コンテスト等)。 ・地域社会と連携をした実践的教育 主体的に地域社会に関わり、地域課題解決のサービスの提供側になる体験をする。</p> <p><b>期待する効果</b> 自分の好みや価値観の発見につながり、スキルや意欲を高め、進路意識が高まる。 → 地元への理解が深まる。また、ふるさとの担い手になっていく可能性が生まれる。 → Uターン、地元就職・地元企業の発展・地元での起業につなげる。 つまり、転出を抑止する。</p>	ご意見を参考とさせていただきます。
10	P2 他		<p>「笠岡市人口ビジョン」(案)および「笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(案)の中で、国道2号を「国道2号線」と記述しているが、公の文書では「一般国道2号」または「国道2号」と記述すべきもの。 市民の日常会話においては「国道2号線」や「2号線」と呼称するのが普通であっても、国道の正式な呼び方ではないというのを笠岡市の職員は知らないのか。全国的に公務員の質の低下が問題となっているが、質の低下を露呈しているようなもの。恥ずかしくないのか。</p>	案に反映いたします。

## パブリックコメントによる意見に対する笠岡市の考え方(総合戦略分)

番号	ページ	項目名	意見	市の考え方
11			<p>市民の所得を指標に追加してはどうでしょうか。</p> <p>未婚者の結婚するために問題となっている要因で上位は・・・ 「結婚資金」・「生活資金」です。 結婚している人の希望子ども数と予定子ども数の差の理由で上位は・・・ 「子育てに係る経済的負担が大きいから」です。 つまり、経済的な理由が大きいことが各種調査によると明らかです。</p> <p>その解決のため具体的施策や取組みがされていて、それぞれの指標が示されていることは理解できます。そのことは良いのですが、例えば事業所数や従業員数が目標達成しても年収が減るようでは課題解決につながりません。 したがって、指標に「しごと」を増やすことなどに加え、市民の年間平均所得を増やすことに関するものを加えてはどうでしょうか？</p> <p>生活のゆとり分を考慮すると、物価上昇分の影響を考えなければならないとも思います。 年齢別・男女別の指標、特に生産年齢前期など子育て世代の状況を加えれば良いと考えます。 さらには、高齢者介護など扶養家族への支出負担なども考えられるので、世帯別の指標もあれば良いかと思えます。</p> <p>要は、生活に経済的ゆとりが増してきていることが確認できて、より確かな評価につながるも</p>	<p>ご意見を参考とさせていただきます。</p>
12			<p>1.策定の考え方に「岡山県の動向」が漏れています。*2 2.(具体的な取り組み内容)に対して各項目があげられていますが。 各項目ごとに具体的に担当者・数値目標・期限も入れて下さい。*3 3.「5計画の推進」を、「5計画の推進と進捗管理」に、修正してください。*4</p> <p>【趣旨補足】 *2:岡山県とも相互協力が必要だと考えます。 *3:具体的に担当者・数値目標・期限を入れると、KPI目標に対して、進捗管理がやり易いと考えます。 *4:5年間ぐらいあつという間に過ぎます。毎月進捗管理して行けば着実に推進できると考えます。</p>	<p>ご意見を参考とさせていただきます。</p>